

みずほCustomer Desk Report 2016/09/21号(As of 2016/09/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.94 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.91	1.1177	113.92	0.9803	1.3037	0.7539
SYD-NY High	102.07	1.1214	114.03	0.9811	1.3065	0.7565
SYD-NY Low	101.54	1.1150	113.43	0.9763	1.2947	0.7530
NY 5:00 PM	101.72	1.1150	113.43	0.9791	1.2990	0.7555
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.205/12.615		△25RR		0.693	Yen Call Over
NY DOW	18,129.96	9.79	債券市場			
NASDAQ	5,241.35	6.32	日本2年債	-0.2650	▲1.0bp	
S&P	2,139.76	0.64	日本10年債	-0.0630	▲2.4bp	
日経平均	16,492.15	▲27.14	米国2年債	0.7743	▲0.4bp	
TOPIX	1,316.97	5.47	米国5年債	1.2001	▲2.0bp	
シカゴ日経先物	16,415	85.00	米国10年債	1.6892	▲2.3bp	
ロンドンFT	6,830.79	17.24	独10年債	-0.0180	▲3.4bp	
DAX	10,393.86	19.99	英10年債	0.8060	▲7.1bp	
ハンセン指数	23,530.86	▲19.59	豪10年債	2.1150	▲0.2bp	
上海総合	3,023.00	▲3.05	為替市況			
USDJPY 3M Vol	12.57	0.23%	USD/CNH	6.6820	0.0160	
USDJPY 6M Vol	11.65	▲0.12%	ドルインデックス	96.01	0.17	
EURJPY 3M Vol	12.09	0.15%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	11.72	▲0.14%	CRB指数	182.970	1.33	
			NY金	1,318.200	0.40	
			WTI	44.050	0.19	
			Dubai Spot	42.47	▲0.51	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月20日	10:30	豪 RBA議事録	9/6分	-
	21:30	米 住宅着工件数	8月	1,142K / 1,190K
	21:30	米 建設許可件数	8月	1,139K / 1,165K
	-	米 FOMC(-21日)	-	-

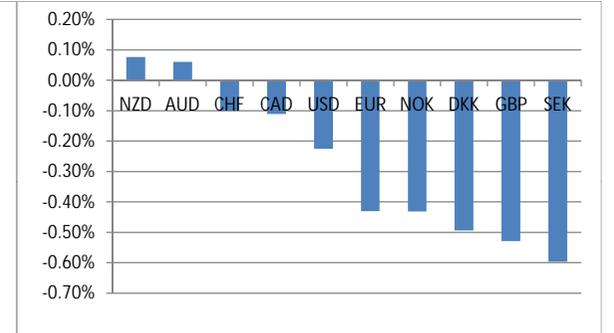
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月21日	08:50	日 貿易収支	8月	¥191.0B / ¥513.6B
	08:50	日 輸出/輸入(前年比)	8月	-4.7%/-16.6% / -14.0%/-24.7%
	-	日 日銀金融政策決定会合、総合的検証結果発表	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁、会見	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	9/16週分	4.2%
9月22日	03:00	米 FOMC政策金利	-	0.25%-0.50% / 0.25%/0.50%
	03:30	米 イエレンFRB議長、会見	-	-
	06:00	NZ RBNZオフィシャルキャッシュレート	-	2.00% / 2.00%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



日本	連休明けの東京時間ドル円は、101.91レベルでオープン。オープン後は日米の金融政策決定会合結果を翌日に控える中で様子見ムードが強く、正午前には高値102.07まで上昇するが勢いは続かず、その後は下落に転じる。一方、為替スワップ取引では短期のドル調達コストの上昇が顕著となり、9月を跨いだ期間1カ月物のLIBORはリーマンショック以来の高水準に位置する状況となるも、SPOT取引への影響は限定的となり、ドル円は下落基調を継続した後、結局101.79レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は101円台半ばから後半にかけて上昇。朝方は101.79レベルでオープン、序盤にユーロドルが大きく上昇したことによりドルが一般的に下落する展開となり、ドル円はストップを巻き込みながら下値101.54まで下落。その後は欧州株が堅調に推移する中でクロス円も底堅く推移し、ドルが買い戻された事でドル円もつれ高となると101円台後半まで上昇。結局101.91レベルでNYへ渡った。ホントドルは1.30台半ばから1.29台半ばまで下落し、8月16日以来の安値を更新。朝方は1.3038レベルでオープンし、序盤の一時的なドル売りを受け1.3065まで上昇。Brexitにおいて英国の単一市場へのアクセスをめぐる懸念も意識される中、ドル買戻しの動きにより軟調な地合いが続き、1.3000を割れるとストップを巻き込みながら下落し、1.2974レベルでNYへ渡った。(ロンドントルフリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY市場は101.91レベルでNYオープン。朝方発表された米8月住宅着工件数は予想を下回ったが、市場への影響は限定的となる。高く寄り付いた9月平均がプラス幅を縮小する展開にドル円は101.62まで下落するが、翌日に日銀、FOMC金融政策決定会合結果発表を控えて積極的な値動きとはならず、101.75を挟んでの方向感の欠ける推移が続き、結局101.72レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは、ユーロ圏の上昇を受けて連れ高となり、ユーロ買の流れに一時1.1210まで上昇。しかし100日移動平均線の1.1200付近ではユーロ売り意欲も強く、1.1180付近まで下落した後、1.1187レベルでNYオープン。特段材料がない中でじり安で推移し、安値圏となる1.1150レベル海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西島・橋

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	100.00-104.00	1.1100-1.1250	112.50-114.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ドル円は101円台後半の狭いレンジ内で揉み合い。米8月住宅着工件数は市場予想を下回るも、マーケットの反応は鈍く、OPEC担当のロシア高官の発言を受けて原油価格が上昇する場面があったものの、ドル円相場が大きく動意付くことはなく小康状態のまま本日を迎えた。本日のドル円は日銀、FEDそれぞれの金融政策発表を受けて荒々しい値動きとなることが想定される。内容如何ではあるところ、今次会合での日銀追加緩和は無く、米利上げは見送りとの公算からはドル円の上昇をイメージしづらく、上値の重い相場展開が基本線か。日銀の総合的検証では今後の金融緩和の軸にマイナス金利拡大を据え、国債購入年限の柔軟化などの方針が打ち出されると見られるが、事前に織り込まれている印象から為替市場の反応は限定的か。むしろ緩和期待の剥落となれば失望を買い、一時的に円高の反応もありそう。FOMCでは年内利上げ可能性を見極める上でドット・チャートおよびイエレンFRB議長会見が注目される。タカ派であればあるほど株安を通じリスクオフの円買いに結局はドル円の反発は抑えられよう。